

日本ゼオン、中国・広州市のCMB新工場完成

2004年8月25日


日本ゼオン（社長 古河直純）は、自動車ゴム部品の原料となるCMB（カーボンマスターバッチ）の中国における需要増に対応するため、ゼオンポリミクス株式会社（社長 堀江敏夫 日本ゼオン100%出資）、東京材料株式会社（社長 深谷弘道 日本ゼオン54%出資）及び豊田通商株式会社（社長 古川晶章）との合弁により、昨年7月に「瑞翁化工（広州）有限公司」を設立し、12月より新工場建設に着手していたが、このほど完成し、営業運転を開始した。

当社は、合成ゴム事業の一環として海外CMB事業を積極的に展開しており、本工場はタイ国・ゼオンアドバンスドポリミクス社、中国・瑞翁化工（上海）有限公司に続く第三の海外生産拠点であり、また中国・華南地区においては唯一の日系CMBメーカーとなる。

中国での自動車生産が急拡大する中、日系及び欧米系自動車部品メーカーが中国への生産シフトを加速させており、急速にCMB需要が拡大している。さらに、ニーズも多様化、高品質化しており、当社はこれらに逸早く対応できる供給体制を整備することで、一層のCMB事業拡大を目指す。さらに、華東地区におけるCMB生産・販売拠点である瑞翁化工（上海）有限公司、瑞翁貿易（上海）有限公司との連携による相乗効果を発揮させることで、中国における合成ゴム事業の更なる拡大、発展を図っていくとともに、当社が世界No.1シェアをもつ耐油性特殊ゴム（ニトリルゴム、アクリルゴム、エピクロルヒドリンゴム）を原料としたCMBの中国での拡販により、ナンバーワンの地位を一層強固なものにすべく注力していく。

1. 新会社の概要

- (1) 社名： 瑞翁化工（広州）有限公司
（英文名：Zeon Polymix (Guangzhou) CO., LTD)
- (2) 設立日： 2003年7月16日
- (3) 所在地： 中国広東省広州市経済技術開発区永和経済区井泉一路
- (4) 資本金： 300万USドル
- (5) 出資比率： 日本ゼオン 30%、ゼオンポリミクス 30%、
豊田通商 30%、東京材料 10%
- (6) 生産能力： 5,000トン／年
- (7) 董事長： 南 忠幸（日本ゼオン（株）取締役ゴム事業部長）
- (8) 投資金額： 約4億円

 本件に関するお問い合わせ

日本ゼオン株式会社 **CSR**統括部門 広報室
Tel : 03-3216-2747

[▶ お問い合わせフォーム](#)